

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	64
基本施策	18	住環境の整備	評価責任者	町有施設整備室長 大場 利昭
単位施策	2	良好な住生活の確保		税財管理課長 淡路 至尊

1 施策の概要

基本方針	住民の良好な住生活を確保するため、住宅のバリアフリー化や、断熱構造化、省エネ設備の配備など、環境にやさしい住宅づくりを働きかけます。また、火災報知器の設置や、耐震診断や耐震改修などを働きかけるとともに、シックハウス症候群など住宅問題について啓発していきます。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	住宅のバリアフリー化や、環境・景観への配慮など質向上に向け高齢者や重度身障者を対象とした住宅改修支援を交付金を活用し実施している。また、火災報知器の設置助成や、水洗化などを実施している。
	【現状】（平成23年度末）	快適住まいづくり促進事業等による住宅のバリアフリー化を進めている。また、建替計画が無く長期的な活用を図るべき住宅について、計画的な改修修繕を実施しているほか、地震時に避難所となる町有施設の耐震性の確保に向けた事業を実施している。
	【課題】（平成21年度末）	バリアフリー化等の住宅環境向上に向けた施策の一層の推進と啓発への取り組みが必要である。また、施策支援として実施している住宅改修支援については、今後、新築、増改築を含めた支援制度と支援対象の拡充について取り組む必要がある。
	【課題】（平成23年度末）	建替計画のない公営住宅等について耐久性向上を目的とした長寿命化型改善や居住環境の向上を目的とした施策の一層の取り組み及び町有施設の耐震性確保に向けた取り組みが必要である。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	職員住宅改修工事業	管財係	5,964	A	継続/現状維持	A
②	既設町営住宅団地環境整備事業	建築係	6,773	A	継続/現状維持	A
③	町有施設耐震化事業	建築係	1,890	A	継続/現状維持	C
④	【再掲】雄武町快適住まいづくり促進事業	建築係	37,656	A	継続/現状維持	A
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	良好な住環境の維持、良質な居住環境の確保、町有施設の安全性の確保のための事業であり、妥当である。
② 有効性	A	居住環境の向上及び町有施設の安全性の確保が図られ、事業として成果が得られている。
③ 効率性	A	耐久性の向上、良好な住生活の確保及び町有施設の安全性の確保に向けた施策の実施により将来的財政負担の軽減が図られたことは、効率的と判断する。
④ 公平性	A	良好な居住環境を確保することについては定住対策ともなる施策であり、また、災害時の避難所施設の安全性の確保についても理解が得られるものと判断する。
⑤ 町民意見の反映	A	町営住宅等の耐久性の向上や町有施設の安全性の向上に取り組むことは当然である。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
建替以外の維持保全団地に対し耐久性の向上や良好な居住環境の確保に向けた施策が実施されている。また、避難所施設の安全性が確保されたことは政策目的が達成されている。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
耐久性や居住環境の向上及び施設の安全性の確保に向けた施策であり継続現状維持が必要である。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		